

6. 地方からの便り

少年消防クラブの集いを開催

富山県 富山市消防本部



夏休みに入り、暑さも増してきた7月27日(火)に富山消防署において、「少年消防クラブの集い」が開催され、暑さにも負けず、元気いっぱいの少年消防クラブ員の小学生270名が集まりました。

この集いは毎年、楽しく火災予防について学んでもらおうと行っているもので、子供達も様々な体験ができると楽しみにしています。

放水体験、起震車・梯子車の試乗など、様々な体験や見学の時間を設け、クラブ員達も「あれは何かな？」と館内のあちらこちらを見渡し、興味津々の様子でした。



梯子車試乗では、「こわーい」と声を出している子もいましたが、実際にヘルメットをかぶり、防水衣を着用しての放水体験ではホースより出る水の勢いを手に感じ、的に描かれた炎を消そうと真剣な様子でした。うまく当てた時には「やったー」と無邪気な笑顔を見せていました。



救助演技を見学し、今回の各体験を通して、「消防士の仕事の大変さがよく分かった」「日頃から災害に備えておくことが大事と思った」など、防災について様々な思いを新たにされた姿が見られました。

今回学んだ火災予防について、参加していない家族・友人等にも伝えて、より一層の防火活動に役立てて欲しいと願っています。



豊中市全職員対象に救命講習を実施

大阪府 豊中市消防本部



豊中市消防本部は、8月11日(水)に市職員を対象にした普通救命講習を開催しました。個人の防災力を高めることを目的に、災害時や日常業務の中で負傷者に的確に対応できるよう、来年度末までに全職員を対象に行う予定で、この日が最初の講習となりました。

対象となるのは職員4,176名の内、医療従事者と2年以内に受講した職員を除く約2,700名と希望する非常勤職員となります。市民に安心して市の施設を利用してもらうことや地震などの大災害に備えるため、すべての職員が応急手当の知識と技術を身に付けることを目的としています。この講習会は、年約30回実施する予定で、2年ごとに再受講し、学んだ内容を確実に実践できるようにしていくこととします。

市消防本部が講師を務めた初日の講習には、28名が参加し、約3時間の講習で、心臓マッサージと人工呼吸による心肺蘇生法や止血法などの応急手当を学びました。

消防本部は市民を対象にした応急手当講習会を行っています
が、前年度は255回、計7,862名が受講しています。

第17回少年消防クラブ員研修会

島根県 雲南消防本部

雲南消防本部において、7月29日(木)8時30分より、第17回少年消防クラブ員研修会が開催されました。

この研修会は、少年期の防火教育の一環として消防へ

の理解や関心を深めることを目的に雲南少年婦人防火委員会が主催し、雲南十町村内の少年消防クラブから小学生200名等が参加しました。



小学校4年生以上の児童が班ごとに分かれて、人形を使った救急法を研修し、消火訓練では水の入った消火器やバケツをリレーし、力を合わせることの大切さを学ぶ姿が見られました。クラブ員達は、はしご車体験、地震体験、消火訓練、訓練棟での濃煙体験などを通じて、防火の大切さや火の正しい使い方などを学んでいました。



また、研修は集団行動を通じて力を合わせることの大切さや協調性を養い、クラブ員と消防職員、クラブ員相互の親睦を深める狙いもあり、米をといだり野菜を切るなどして昼食のカレーライスと一緒に作り、後かたづけも全員で行いました。



この研修会を通じて、クラブ員の夏休みの思い出と消防への理解、防火防災に対する意識の高揚を図ることができました。

少年消防クラブ1日署員

愛知県 豊田市消防本部

豊田市消防本部では、8月6日(金)10時より、消防本部庁舎内において豊田市消防署少年消防クラブ1日署員を開催しました。

これは、消防の仕事を体験してもらうことで、正しい理解を深めることを目的に行われており、少年消防クラブ員200名が参加しました。



猛暑の中での一日署員となり、屋内訓練場も熱気に包まれ最初の規律訓練からクラブ員達は、大粒の汗を流しての訓練が始まりました。



体験コーナーでは、各班のチームワークが生まれ、高さ25メートルの塔にロープをはって渡る訓練では、大きな声で応援ができ、クラブ員相互の親睦が図れました。参加したクラブ員からは、ロープ訓練を体験して「ロープが高いところにあるから、はじめは怖かったけど、実際にやってみたら思ったより簡単にできました。でも、毎日こんな訓練をしている消防署の方は大変だと思いました」との声が聞かれました。

その後、班ごとにロープ訓練、放水訓練、地震・煙・応急手当と訓練を行い、心肺蘇生法では命の大切さを学びました。放水訓練を終えたクラブ員は、



「防水衣を着たらとても暑く、またホースから水が出る時、水圧でものすごい反動があり、びっくりしました。消防の方が大変な訓練をして僕らの町を守ってくれることが分かりました」と話していました。

最後に終了証を手渡され、クラブ員にとって有意義な一日となりました。

[▲このページの上に戻る](#)

楽しく学ぼう！（消防学校一日入校）

栃木県 宇都宮市消防本部

宇都宮市消防本部では、去る7月27日栃木県消防学校において消防学校一日入校を実施しました。



当日は、30度を超える猛暑の中、婦人防火クラブ員・少年消防クラブ員・幼年消防クラブ指導員合わせて400名が地元テレビ局の取材を受けながら防火・防災に関する必要な知識・技術を学びました。



消火訓練・応急手当・非常食作り・諸行動体験・防災館体験の各研修コーナーでは、真剣に取り組む姿が印象的でした。



特に消火コーナーのバケツリレーでは、9つのチームに分かれ5つの的を倒す時間を競う競技形式としたため、初対面の人たちが協力して大きな声を掛け合い笑顔の中にも本番さながらの熱のこもった訓練となりました。



この催しは、防火・防災に関する必要な知識・技術を習得するだけでなく各防火団体相互の交流を深めることも目的としており、その目的は達成されたものと思います。

[▲ このページの上に戻る](#)

泉佐野市消防音楽隊第5回演奏会を開催～みんなに届け！防火の願い～

大阪府 泉佐野市消防本部

泉佐野市消防本部では、泉佐野市火災予防協会の後援を受け、演奏会を開催しました。

これは、広く市民に「消防」への理解を



深めていただくため、また、一人でも多くの方に火災予防を訴えたいとの思いかた実施されてもので、今年で5回目の運びとなり7月16日(金)の午後6時30分から開催した泉の森ホール大ホールは、市民で満席となりました。

演奏会は3部構成で、マーチに始まり歌謡曲まで、多彩なジャンルで校正され、特に第2部の「歌え！紅白歌合戦」などは、幅広い年齢層の市民の皆様楽しんでいただけるような選曲で会場を盛り上げまし

た。

また、第3部では、粋な法被姿で繰り広げられる江戸時代の町火消しでも有名な、はしご乗り演技に合わせ、和太鼓の演奏が行われたり、ステージ・マーチングでは、日頃、合同練習をしている泉南市立一丘中学校吹奏楽部員の友情出演もあり、勇ましい消防職員の演奏に華やかな子供たちの演出が加わり、会場を埋め尽くした観客達は、その熱演に新たな気持ちで「火災ゼロ」を誓っていました。

木ノ元正春消防長は、「発足して5年を過ぎたとはいえ、非番週休等の限られた練習しかできず、まだまだ未熟ではありますが、火災ゼロ、焼死者ゼロにかける熱意は常に前進しております。どうか、隊員のこの強い思いを受け止めていただき、より一層の火災予防にご協力をお願いします。」と語っていました。

[▲ このページの上に戻る](#)

第15回泉佐野市総合防災訓練を開催

大阪府 泉佐野市消防本部

泉佐野市は、8月25日(水)の9時55分から第15回泉佐野市総合防災訓練を実施しました。

今年の訓練会場は、市立新池中学校のグラウンドで新池中学校区の12町会(自治会)や自主防災組織をはじめ、消防本部、警察等の防災関係機関を含め、19団体約700名が参加し、また、会場外では同時刻に市内の約300事業所が避難訓練等を行いました。

訓練は、南海地震を想定し、消防本部による救助救出訓練から始まり、災害対策本部を立ち上げ津波対策訓練や警戒区域設定訓練、初期消火訓練、水防訓練、ライフライン復旧訓練、炊出し訓練等を行い、最後に災害対策本部長等が復旧状況を視察し終了しました。

